

SSKP
はばただより
vol.134

うちの施設
夏の1枚！

おおぞら会の各施設から
この夏のひとコマをあつめました！

夏の恒例！
カレーライスづくり

はばたけ



ボールプールで
リラックス！



あすはkids

丹精込めて…
豊作！夏野菜



工房 時

野ざきの家



社会福祉法人おおぞら会

各施設をのぞいてみると、日常の様々な活動の中に
たくさんのいい顔がありました！

小規模多機能型居宅介護

野ざきの家



2011年8月に開設されてから6年の月日が経ちました。なかなか安定しなかった定員もいっぱい
の嬉しい状態が数か月間続いています。この様な状況になると、自然と利用相談や問い合わせが増
えるのも不思議なものです。介護保険サービスは多岐に渡るのでその中から利用を検討して頂くこ
とは大変喜ばしいことです。近頃、介護業界でニュースになるのは暗い話題が多く、職員の人材不
足も国レベルで深刻な状況です。その反面、我々が日常で支援している事や大切にしていることを
伝える機会はとても少ないです。このような機関紙を通して、この仕事にやりがいや想いを持って
支援をしている職員と、その思いをひとつにして地域貢献できるよう頑張っている施設の方が圧倒
的に多いことを、あらためてお伝えできたらと思っています。

さて、今年の夏は雨続きでしたが、8月23日
野ざきの家では恒例の「夕涼み会」を行いまし
た。こういった行事は準備も含め楽しまないと！
とばかりに、午前中からさっそく皆さんにもお手
伝いに参加していただき、みんなで食事の準備を
進めました。「参加」と簡単に言ってしまいまし
たが、「参加」にはいろいろな形があります。得手
不得手はもちろん、興味、関心もそうです。人それ
ぞれ違って当たり前で違っていいのです。それを
大切に一緒に作業するのと、そうでないのとではまったく違った結果になってしまいます。野
ざきの家では、皆さんそれぞれのペースにあるものを大切に、みんなでいるからこそ共有できる和
やかな雰囲気をつくるようにしています。今回も、その中で皆さんが充実した表情で、生き活きと
参加されていたことを嬉しく思いました。

さて、いよいよ夕涼み会！食事だけでなく余興の準備も用意周到に計画し、射的・すいか割り・
クイズ・花火…と盛りだくさんで楽しんでいただきました。また、この日のために日頃の活動で「東
京音頭」と「炭坑節」を練習し、みなさんと踊りました。地域の民生委員や連携事業所の皆様をは
じめ来賓の方も一緒になって踊って下さり、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。差し入れ



もいただき、会を盛り上げていただき本当にあ
りがとうございました。こうやって地域の方、
利用されているご家族も参加していただき、い
ろいろな人に支えられているんだなあ実感し
ました。

行事が終わると「次はこうしよう。あれをや
りたい」とエネルギーが溢れてきます。それを
実行する力がまだまだ足りないと実感している
今日この頃ですが、「希望」を持って前に進みた
いと思います。

(管理者 齋藤貴彦)



サポートネットあすは

【移動支援・居宅介護事業】

サポートネットあすはの2017年度1回目のヘルパーミーティングは、講師に法人武蔵野デイセンターふれあい施設長、本庄一聖さんを講師にお招きして「障がいのある方の心理と理解」という内容でお話をいただきました。講演後、ヘルパーの感想をまとめましたところ、印象に残った言葉がありましたので、この紙面をお借りして皆様にご紹介したいと思います。

- 「支援＝その人の育ってきた環境・人生が出る」この言葉、支援者であれば誰でもはっとさせられる言葉ではないでしょうか？私自身、自分自身を客観的に見る良い機会になりました。ちょっと一休みして、自分の後ろを振り返りたくなるような感覚がありました。
- 「自立とは、当事者が孤立せず、依存先がたくさんあること、つまり支え支えられる関係、頼り頼られる関係を豊かにしていくということ」この視点に共感できたというヘルパーさん、たくさんいました。
- あと一つ、「障害のある方は、進み方はゆっくりだけど、その分周りの景色をじっくり見ることが出来る。私自身が思っている以上の力を持っていることに気づかされることが多々あります。なので、支援で要注意は、思い込みと自己満足です！」

もっともっと、ご紹介したいのですが、今回はこのくらいで…。このような感覚をお持ちの多くのヘルパーさんに支えられ、サポートネットあすはは、今後も業務に邁進してまいります。
(管理者 二口緑)

あすはKids 【放課後等デイサービス】



猛暑日が続いているかと思えば急な雷雨が…と、今年の夏も自然の驚異を感じさせられました。Kidsの子どもたちは、そんな自然のパワーに負けじと毎日元気に過ごしていました。とくに暑い日はみんなで水遊び！水着に着替えて遊ぶ気満々の子もいれば、「僕は足だけでいい」と最初は控えめな子。それでも最後には、ほとんどの子が濡れることなど気にせず思い切りの笑顔で遊んでいます。バシャバシャと水をかけあったりじっと水の流れを見つめたり、浅瀬でも一生懸命泳いでみたりと、子どもによっていろいろな楽しみ方をされていて「どんな遊び方をするのかな？」とみているこちら、好奇心をくすぐられます。冷たくて気持ちいいだけでなく、水には何か惹きつけられるものがあるようで、不思議ですね。

水遊びは水場のある公園で行っていますが、8月には昨年に続いて、はばたけプールにもお邪魔しました。お庭プールはちょっと裸んぼになっても、大きくしぶきをあげてもOK！公園とは違った雰囲気の中であそび、子どもたちの笑顔もたくさん見られました。こうして季節ごとにいろいろな遊びを通してkidsらしい活動をしていきたいと思っています。(支援員 梅田亜希)





～ 工房 時 ニュース ～

【就労移行・就労継続B型】

～日々の仕事、生活...経験を積み重ねていく中で～

さわやかな秋風が吹く季節になり、朝夕はめっきり過ごしやすくなりました。

さて、日々の仕事に取り組み、みんなで昼食を食べ、仲間と会話を楽しみ・・・工房時の所員のみんなは、いつも元気に過ごしています。職員は所員が充実した時間を過ごせるよう、日々どのような支援が出来るかを考えています。そういった中で、日々の変化や進歩、頑張っている姿、楽しんでいる様子など、所員一人一人の様子をしっかりと観て、共感し、寄り添いながら支援をしていかなくてはと思います。今回はそんな所員のほっこりするような様子をいくつか紹介したいと思います。



以前、店舗で働いていた A さん、所属する部が変わってから土曜日におもむく食堂に来てうどんを食べるようになりました。店舗で働いていた時は話していることが多く賑やかでしたが、お客さんとして来店している時はほとんど話さず、淡々と券売機で食券を買って、静かに食べています。淡々としている様子が落ち着きを感じさせ、なんだか大人になったようでうれしく感じました。

B さんは会話でのコミュニケーションはオウム返しが多かったのですが、やり取りできることが多くなってきました。「いってらっしゃい」と声をかけると「行ってきます」と答えられるようになりました。また「美味しい?」と聞くと「美味しかった」と笑いながら答えることもあります。職員の目をしっかりと見て話すなど、言葉に感情が入るようになってきました。

洗濯の仕事をしている人たちが大変そうなのを見て、C さんが手伝ってくれるようになりました。とても頑張っています。みんなの様子をしっかりと観て、また状況を考えて行動出来ていることは素晴らしいと思います。また、みんなのために役立っているということから、充実感を得ているように見えます。



お菓子の新商品の話し合いをしました。新しい味の商品を開発したいという思いがみんなにあり、特に D さんは積極的で「塩味が良い!」と意見を出していました。自分たちの作っている商品を多くの人に知ってもらいたい、売りたいといった思いが伝わってきました。また自分たちの仕事に対するプライドも感じました。

日々、一人一人の変化や進歩を見逃さず、思いを実現していけるような実践をしていきたいと考えています。楽しいこと、うれしいこと、やり遂げたことなど、成功体験を積み重ね、それを評価されることが大切だと思います。これからも一人一人の様子を丁寧に観ていき、いっしょに考え、寄り添いながら、みんなが自分らしい働き方、過ごし方、暮らし方を見つけていかれるように努めていきたいと思います。

(管理者 立野信行)

アクティビティセンター はばたけ

【生活介護事業】

今回ご紹介するのは、夏休みにおこなった『てすき体験』。近隣の小学校の学童の子どもたちを招待し、はばたけの職人さんたち（利用者）が日ごろ商品として製作している“手すきの紙づくり”を体験してもらいました。

「えー！牛乳パックが紙になるの？」と興味津々の子どもたちを前に、もちろん講師を務めるのは、はばたけの職人さんたち！本番に向けて教える練習をして、子どもたちに手本を見せました。

子どもたちがみんなキラキラした目で注目してくれて、少し圧倒され緊張気味の職人さんたちでしたが、みんな楽しそうに体験する姿を見て最後には誇らしげな顔に変わっていました。自分たちの仕事を「すごい」と評価してもらえること、教えてあげてありがたいと言ってもらえること、はばたけの職人さんたちにとっても思い出に残るうれしい経験となりました。



こうやってミキサーにかけて原料をつくりまーす！



みんな真剣！素敵なカードできたかな？



はばたけは、バス通りから 5 分ほど歩いた住宅街の中にあり、すぐ近くに小学校と中学校、児童館があります。時々、大きな声などでびっくりさせてしまうこともありますが、お散歩をしていると子どもたちから元気にあいさつしてくれることもあります。また、先日は公園清掃をしていたら、公園で遊んでいた小学生がお掃除を手伝ってくれました。はばたけの開所時間は、学校では勉強の時間で、なかなか日常的に交流する機会は作れていないのが現状ですが、このように、地域とのつながりをつくるには好立地とも言える環境で、私たちからもっと交流できる場をつくっていかねければもったいないということです。

今回の交流もそうですが、手すきの技でも、障がいのことでも何でも一生懸命知ろうとしてくれる子どもたちを見て、きっと、こうして好奇心旺盛な時期にいろいろな人と、いろいろな場で関わり、感じたことは、少なからずその子の財産になっていくだろうと感じました。

今回の手すき体験は、夏休みの期間を利用し、学童の先生方にもご協力いただき 13 名の子どもたちが来てくれて実現することができました。完成した手すきのはがきを後日お届けに行くと、子どもたちみんなでお迎えしてくれ、お礼の色紙をいただくというサプライズも！こういった丁寧な交流をこれからも大切にしたいなと思います。（管理者 入倉 暁子）



こどもたちからひとことずつ
メッセージをいただきました

つなぐなかまの家 【グループホーム】

さくらハイツはアパート形式のグループホームとして平成20年に開設された2階建てのアパートです。それぞれ独立した居室(1DK・ミニキッチン付き)に、現在7名の入居者が生活しています。

今回は、そんなさくらハイツで暮らしているSさん(50代・男性)の日常をご紹介します。



Sさんは市内の地域活動センターに通い、募金活動では大きな声で街頭募金を呼びかけたり(ご本人談)、調理実習でカレーを作ったり、カードゲームを楽しんだりと毎日元気に活動をしています。べらんめえ口調で我が道を行き、いやな物はいや！好きな物は好き！と、自分の意思を相手にはっきりと伝えます。その真っすぐさはむしろ潔く、うらやましいくらいです。支援を必要とすることも多く、こちらの根気も試されますが、ヘルパーさん始め私たち支援者を上手に操るかのごとく、「こうしてくれなきゃ困るんだ！」とSさんが言う場面がよくあり、そんな時いつも(人を動かすのが上手いなあ…)と思います。

土日の移動支援で外食をしたり、吉祥寺で買い物をすることが何よりも楽しみで、毎週金曜日の夕方になると決まって、「あー、明日は楽しみだなあ♪コーヒを飲んで、昼は松屋で肉を食って、そのあと買い物をしてお菓子を買うんだ！あー、明日は忙しいぞおー！」と満面の笑みで語ってくれます。その満たされた笑顔を見ながら、「よかったねええ～」と調子を合わせ、Sさんと喜びを共感することが楽しいです。周りの入居者の人たちもつられて笑顔になっています。身近にある楽しいことの一つ一つをしっかりとかみしめて毎日を過ごすことは大事な、人生の色が濃くなるな、とSさんを見ていて思います。

ある日、Sさんに聞いたことがあります。

「Sさんみたいに、皆が楽しく暮らすためにはどうすれば良いと思う？」

Sさんは答えました。

「皆が部屋に戻る時に、“また明日ね！”って言ってやるんだよ！

それで朝になったら“お早う！”って言うんだよ！」

人は、人と人とのつながりの中で生きている、その人の存在を認め、声を掛け合うだけで楽しく生きられる、と言っているように聞こえました。とてもシンプルで、Sさんの人生観が出ている言葉なのだと思います。

もし今、少しお疲れの方がいたら、週末のSさんに会いに行くことをお勧めします。
『週末の楽しい過ごし方』をレクチャーしてもらえれば、きっと元気が回復することと思います。



(管理者 南川雄造)

おおぞら会後援会ニュース

総会のご報告

おおぞら会後援会の定期総会を5月に開催しました。多くの方にご来場いただき、ありがとうございました。下記資金収支報告のとおり、昨年度も後援会から法人へ200万円の寄付を支出することができました。これも会員のみなさまのお力添えがあってこそのことです。今後ともおおぞら会の運営を支える後援会の活動を、どうぞよろしくお願いいたします。

2016年度 おおぞら会後援会 資金収支報告書

単位:円

収入の部			支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
会費	1,850,000	1,626,000	事務費	140,000	86,971
寄付金	150,000	205,000	事業支出	0	0
事業収入	0	0	バザー・祭り	50,000	1,000
バザー・祭り	200,000	169,475	法人へ寄附	2,000,000	2,000,000
雑収入	11,000	0			
収入計	2,211,000	2,000,475	支出計	2,190,000	2,087,971
			当期収支差額	21,000	-87,496
			前期繰越金	1,909,193	1,909,193
			次期繰越金額	1,930,193	1,821,697



社会福祉法人おおぞら会後援会
会長 吉野 壽夫

★後援会新規ご入会・ご更新(敬称略)

(4/1~8/28 集約分)

個人161名、団体2社よりご入会・ご更新のお手続きをいただきました。
ありがとうございました。

★後援会へ ご寄附(敬称略)

個人9名、団体1社よりご寄附をいただきました。ありがとうございました。
ご寄附は大切に活用させていただきます。

★法人・各事業所へ ご寄附(敬称略)

個人17名、団体4社よりご寄附をいただきました。ありがとうございました。
ご寄附は大切に活用させていただきます。

皆様 ありがとうございました。後援会費、ご寄付は大切に活用させていただきます。

* 後援会へのご入会・ご更新をお願いいたします *

年会費 1口 個人…2000円 団体…10000円

年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください。

郵便口座 00160-0-39163 口座名義: 社会福祉法人おおぞら会後援会

はばただよりを郵送の方には、振込用紙を同封しております。

今年度すでにご入会いただいている皆様にも同封されておりますことを、ご了承ください。

information

はばたけ秋まつり

10月28日(土) 11:30~15:30

雨天決行

ステージ

多世代交流センター和太鼓クラブ
にしじょうかんダンスクラブ
第2中学校合唱部
三鷹POPS

～お楽しみ！和太鼓をたたこう～

ミニバザー

ワークショップ

紙すき体験
アクセサリーづくり

もぎてん

焼きうどん
フランクフルト
おからドーナツ etc
...

キッズコーナー

たくさん遊んでおみやげゲット！

バルーンアート
&
アイスクリーム屋さんもくるよ☆

会場: アクティビティセンターはばたけ

＊お車での来場はご遠慮ください＊

社会福祉法人おおぞら会

- | | | |
|------------------------------------|---------------|------------------|
| ・ アクティビティセンターはばたけ (生活介護事業) | 三鷹市野崎 3-17-9 | tel 0422-32-3234 |
| ・ 工房時 (就労移行事業・就労継続B型) | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5571 |
| ・ 野さきの家 (小規模多機能型居宅介護事業) | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5575 |
| ・ サポートネットあすは (移動支援[居宅介護]事業) | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ あすは Kids (放課後等デイサービス) | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ ショートステイさくら (短期入所事業) | 三鷹市井の頭 4-22-6 | tel 0422-32-3234 |
| ・ つなぐなかまの家 (共同生活介護) | | |

先日、2日間の研修を受講した。最近の流行りはグループワークによる演習だ。主体性をもって参加し自己を見つめる機会にもなり効果的であるのだが、何せ忙しくぼーっとする暇がない(そもそもぼーっとしてはいけないのだが)。あえて経験も職種も分けた6名くらいのグループで、自己紹介から始まり、課題を一緒に考え発表し合う。昔の私なら黙って下を向いてやり過ごすことに終始してしまう苦痛なシチュエーションだ。しかし、今では意見も発表も何のためらいもなく、むしろ情報交換とばかりにあれこれ質問もしてしまう。人見知りですと言っても、もはや信じてもらえない光景だ。年月は恐ろしいもの…なんと図太くたくましくなってしまったことか！もしくは、人と携わる仕事をしてきたことで少なからず成長してきたということか…。良いほうに解釈するでしょう。(いりくらあきこ)

発行 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17-102 【頒価 50円】

企画・編集 社会福祉法人おおぞら会 編集責任者: 入倉暁子

第二号第一様式
法人単位事業活動計算書
(自)平成28年 4月 1日(至)平成29年 3月31日

社会福祉法人おおぞら会				(単位:円)	
勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
事業活動による収入	介護保険事業収益	34,397,905	38,818,987	△ 4,421,082	
	就労支援事業収益	7,278,604	7,429,281	△ 150,677	
	障害福祉サービス等事業収益	254,816,596	247,808,061	7,008,535	
	経常経費寄附金収益	4,343,765	4,266,183	77,582	
	サービス活動収益計(1)	300,838,870	298,322,512	2,514,358	
	人件費	229,817,644	229,988,702	△ 171,058	
	事業費	19,848,590	△ 2,240,135	22,088,725	
	事務費	33,174,686	32,046,955	1,127,731	
	就労支援事業費用	8,984,778	8,699,566	285,212	
	減価償却費	19,074,181	21,789,808	△ 2,715,627	
事業活動による支出	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 14,606,084	△ 16,781,152	2,175,068	
	徴収不能引当金繰入	44,950	62,807	△ 17,857	
	サービス活動費用計(2)	296,338,745	297,895,411	△ 1,556,666	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	4,498,125	427,101	4,071,024	
	借入金利息補助金収益	754,180	790,404	△ 36,224	
	受取利息配当金収益	856	4,722	△ 3,866	
	その他のサービス活動外収益	2,637,770	2,294,255	343,515	
	サービス活動増減の部				
	支払利息	3,392,806	3,089,381	303,425	
	その他のサービス活動外費用	852,393	942,243	△ 89,850	
経常増減差額	サービス活動増減差額(4)=(3)+(6)	2,911,865	2,048,535	863,330	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	4,126,673	525,704	3,600,969	
	施設整備等補助金収益	62,592,000	8,835,000	53,757,000	
	固定資産売却益		5,388,810	△ 5,388,810	
	固定資産売却損		34,999	△ 34,999	
	その他の特別収益	△ 2,029	898,960	△ 900,989	
	特別収益計(8)	62,589,971	15,157,769	47,432,202	
	固定資産売却損・処分損		4	△ 1	
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)		△ 5	△ 5	
	国庫補助金等特別積立金積立額	62,020,481	14,252,291	48,368,190	
特別増減の部	その他の特別損失	13,186	1,268,063	△ 1,254,877	
	特別費用計(9)	62,633,665	15,520,358	47,113,307	
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 43,694	△ 362,589	318,893	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	4,082,979	163,115	3,919,864	
	前期繰越活動増減差額(12)	72,476,682	72,312,567	163,115	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	76,558,661	72,475,682	4,082,979	
	基本金取崩額(14)				
	その他の積立金取崩額(15)				
	その他の積立金積立額(16)				
	繰越活動増減差額の部				
次期繰越活動増減差額の部	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	76,558,661	72,475,682	4,082,979	

第一号第一様式
法人単位資金収支計算書
(自)平成28年 4月 1日(至)平成29年 3月31日

社会福祉法人おおぞら会				(単位:円)	
勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収入	介護保険事業収入	35,574,000	34,397,905	1,176,095	
	就労支援事業収入	7,948,000	7,278,604	669,396	
	障害福祉サービス等事業収入	261,021,000	254,816,596	6,204,404	
	借入金利息補助金収入	854,000	754,180	99,820	
	入経常経費寄附金収入	4,430,000	4,343,765	86,235	
	受取利息配当金収入	27,000	856	26,144	
	その他の収入	2,445,000	2,637,770	△ 192,770	
	事業活動収入計(1)	312,299,000	304,229,676	8,069,324	
	人件費支出	230,644,000	229,817,644	826,356	
	事業費支出	21,702,000	19,848,590	1,853,410	
事業活動による支出	事務費支出	36,816,000	33,174,686	3,641,314	
	就労支援事業支出	9,382,000	9,131,931	250,069	
	支払利息支出	864,000	852,393	11,607	
	その他の支出	2,235,000	2,911,865	△ 676,865	
	事業活動支出計(2)	301,643,000	295,737,109	5,905,891	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	10,656,000	8,492,567	2,163,433	
	施設整備等補助金収入	62,543,000	62,592,000	△ 49,000	
	固定資産売却収入		3,996,003	△ 3,996,003	
	施設整備等収入計(4)	62,543,000	66,588,003	△ 4,045,003	
	設備資金借入金元金償還支出	63,329,000	63,326,000	3,000	
施設整備等による収入	固定資産取得支出	4,860,000	8,903,697	△ 4,043,697	
	固定資産売却・廃棄支出		3	△ 3	
	施設整備等支出計(5)	68,189,000	72,229,700	△ 4,040,700	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 5,646,000	△ 5,641,697	△ 4,303	
	積立資産取崩収入		5	△ 5	
	その他の活動による収入		40,893	△ 40,893	
	活動収入				
	その他の活動収入計(7)		40,898	△ 40,898	
	長期運営資金借入金元金償還支出	2,000,000	1,992,000	8,000	
	投資有価証券取得支出	20,000	18,000	2,000	
その他の活動による収入	積立資産支出		5	△ 5	
	その他の活動による支出	90,000	212,411	△ 122,411	
	その他の活動支出計(8)	2,110,000	2,222,416	△ 112,416	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 2,110,000	△ 2,181,518	71,518	
	子備費支出(10)		—		
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	2,900,000	669,352	2,230,648	
	前期末支払資金残高(12)		43,310,384	△ 43,310,384	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	2,900,000	43,979,736	△ 41,079,736	

第三号第一様式

法人単位貸借対照表
平成29年 3月31日現在

社会福祉法人おおぞら会

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産				流動負債			
現金預金	61,080,546	56,495,125	4,585,421	事業未払金	24,687,293	24,663,427	23,866
事業未収金	13,401,425	13,286,132	115,293	1年以内返済予定設備資金借入金	13,920,387	10,146,492	3,773,895
未収金	44,149,758	41,226,901	2,922,857	1年以内返済予定長期運営資金借入金	6,476,000	10,266,000	△ 3,790,000
未収補助金	143,790	0	143,790	未払費用	1,992,000	1,992,000	0
商品・製品	730,000	0	730,000	預り金	388,375	407,410	△ 19,035
仕掛品	377,937	327,193	50,744	職員預り金	148,103	156,729	△ 8,626
原材料	168,057	61,046	107,011	前受金	1,308,428	1,280,796	27,632
立替金	443,280	453,882	△ 10,602	前受収益	0	25,000	△ 25,000
前払費用	157,954	143,554	14,400		454,000	389,000	65,000
徴収不能引当金	1,616,102	1,059,224	556,878				
	△ 107,757	△ 62,807	△ 44,950				
固定資産	391,593,289	405,585,473	△ 13,992,184	固定負債	40,136,000	101,664,000	△ 61,528,000
基本財産	329,089,926	339,477,208	△ 10,387,282	設備資金借入金	39,432,000	98,968,000	△ 59,536,000
土地	132,926,894	132,926,894	0	長期運営資金借入金	704,000	2,696,000	△ 1,992,000
建物	156,077,209	161,853,772	△ 5,776,563	負債の部合計	64,823,293	126,327,427	△ 61,504,134
建物附属設備	40,085,823	44,696,542	△ 4,610,719	純資産の部			
その他の固定資産	62,503,363	66,108,265	△ 3,604,902	基本金	35,476,256	35,476,256	0
建物	29,850,954	31,723,549	△ 1,872,595	第1号基本金	29,976,256	29,976,256	0
建物附属設備	13,707,836	10,734,261	2,973,575	第3号基本金	5,500,000	5,500,000	0
構築物	4,626,981	5,563,844	△ 936,863	国庫補助金等特別積立金	275,380,586	227,366,194	48,014,392
機械及び装置	4,159,820	5,891,603	△ 1,731,783	その他の積立金	435,039	435,039	0
車輛運搬具	2,966,725	4,733,454	△ 1,766,729	授産移行時特別積立金	435,039	435,039	0
器具及び備品	1,732,956	2,048,166	△ 315,210	次期繰越活動増減差額	76,558,661	72,475,682	4,082,979
権利	152,880	152,880	0	(うち当期活動増減差額)	4,082,979	163,115	3,919,864
ソフトウェア	361,800	491,400	△ 129,600				
投資有価証券	187,613	169,613	18,000				
授産移行時特別積立預金	435,039	435,039	0				
差入保証金	4,086,240	4,086,240	0				
長期前払費用	234,519	78,216	156,303	純資産の部合計	387,850,542	335,753,171	52,097,371
資産の部合計	452,673,835	462,080,598	△ 9,406,763	負債及び純資産の部合計	452,673,835	462,080,598	△ 9,406,763